

# 令和2年度第2回「弥富市地域公共交通活性化協議会」 議事録

日時：令和2年10月26日（月）

午後2時から

場所：弥富市役所本庁舎3階 大会議室

## ○議 事

### 1.開会

事務局 (安井課長)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ただいまから、令和2年度 第2回弥富市地域公共交通活性化協議会を開催する。</li><li>・本日の協議会は委員総数20名のうち19名のご出席をいただいております、協議会規約第9条第1項に定める半数以上の定数に達しているため、会議が成立していることをご報告する。</li><li>・当協議会は協議会規約第9条第3項により、会議を公開させていただく。ご理解とご協力をお願いします。</li><li>・本日、傍聴者は4名である。</li></ul>
---------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 2. あいさつ

事務局 (安井課長)	<ul style="list-style-type: none"><li>・最初に、安藤弥富市長よりご挨拶を申し上げます。</li></ul>
安藤市長	<ul style="list-style-type: none"><li>・本日は第2回目となる協議会開催にご出席いただきありがとうございます。</li><li>・平素は市の行政に対してそれぞれのお立場でご支援、ご協力を賜っていること心より感謝を申し上げます。</li><li>・令和2年度も半年が過ぎたが、依然として国内では新型コロナウイルス感染症拡大が広がりつつある。</li><li>・弥富市においても先週2人が感染者になられた。一日も早い回復をお祈りする。</li><li>・なかなか収束の兆しが見えない状況の中、市としては市民の感染症防止対策や、低迷する本市の経済の活性化に向けた施策に取り組んでいる。皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。</li><li>・市民の毎日の通勤や通学、日常生活の足として運行の継続が求められている公共交通事業者、関係者の皆様においても、利用者が安心して利用できるようさまざまな感染対策に取り組まれているご苦労に対して感謝を申し上げます。</li><li>・本市のきんちゃんバスにおいても感染防止対策に取り組みながら引き続きよりよい運行を目指していきたいと思っている。皆様方にはさらなるお力添えをよろしくお願い申し上げます。</li><li>・本日の議題については、各種調査結果のご報告をはじめ、本市のささえあいセンターの新しいサービスである買い物支援サービスについてのご説明、本年度中に見直しを完了すべく地域公共交通網形成計画についてである。忌憚のないご意見をお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。</li></ul>

事務局 (安井課長)	・ 本日の会議資料の確認を事務局より願います。
事務局 (富居)	会議資料の確認をする。 事前にお送りした資料として、 ・ 次第 ・ 配席表 ・ 資料 1 : 利用者実態調査について ・ 資料 2 : 無料お試し乗車券について ・ 資料 3 : 弥富市ささえあいセンター買い物支援サービスについて ・ 資料 4 : 改定) 弥富市地域公共交通網形成計画素案 また、席上に、 ・ 令和 2 年度地域公共交通シンポジウム in 中部 をお配りしている。
事務局 (安井課長)	・ 以降の議事を山崎先生に願います。
山崎議長	・ 本協議会の座長を仰せつがっている。 ・ だいぶ秋めいてきたが、夜と昼間の気温差が激しいので体調を崩しがちかと思うが、ご自愛いただきたい。 ・ 市長の挨拶にもあったが、今日は新しい方法での交通サービス、福祉的なサービスに関する報告もある。十分にこの場で意見をいただきたい。

### 3.議題

#### (1) 各種調査結果について (報告)

山崎議長	・ 議題としては 3 つある。 ・ 1 つ目の各種調査結果について、事務局から資料 1 と 2 の説明を願います。
事務局 (富居)	○資料1説明 ・ 資料 1 の利用実態調査結果、資料 2 の無料お試し乗車券について説明する。 ・ まず資料 1 の利用実態調査結果について状況を説明する。 ・ 平成 28 年度から今年度の 4 月から 9 月の乗車人員の推移を比較できるように整理している。 ・ 上段の表が各月の利用者数、中段がそれをグラフにしたもの、下段の表が対前年度比を示したものとなる。 ・ 全ルート計についてだが、4 月、5 月は昨年約半数近く減少しており、6 月以降は 8 割程度回復しているが、完全な回復には至っていない。 ・ 次に P.2 の北部ルートをごらんいただきたい。 ・ 9 月時点で約 8 割まで回復と、全ルート計と同様の傾向となっている。 ・ 次に P.3 の南部ルートをごらんいただきたい。 ・ 9 月時点で約 9 割程度まで回復している。 ・ 次に P.4 の東部ルートをごらんいただきたい。 ・ 東部ルートは 4 月、5 月は約 4 割まで減少し、9 月時点でも約 7 割の回復となっている。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P.5 もごらんいただきたい。</li> <li>・ 昨年度の調査結果から利用属性を整理している。</li> <li>・ 東部ルートと北部ルートはオレンジ色や茶色の高齢者の利用割合が多い。</li> <li>・ 利用目的を見ると、北部ルートについては緑色の日常生活に必要な買い物目的が多いことから回復が進んでいると思われる。</li> <li>・ 東部ルートはオレンジ色の公共施設利用が多い。</li> <li>・ 東部ルートにおける公共施設利用の多くは、温浴設備もある十四山総合福祉センターである。</li> <li>・ 十四山総合福祉センターの利用状況を見ると、約7割から8割程度の回復となっており、高齢者の施設利用が控えられていることによる影響であると考えられる。</li> <li>・ 今月10月上旬にOD調査を実施し、現在、利用者アンケートを配布中である。次回、第3回協議会にご報告させていただく。</li> </ul> <p>○資料2説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次に資料2の無料お試し乗車券について説明する。</li> <li>・ P.2をごらんいただきたい。</li> <li>・ 今年度の8月1日から9月30日の2カ月間を利用可能期間とし、弥富市内の全世帯及び小学生に配布している。</li> <li>・ 利用枚数は948枚で、昨年度と比較すると8割程度の利用となる。</li> <li>・ 現在、集計作業中であり、次回、第3回協議会で報告させていただく。</li> <li>・ 以上である。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乗車人員、無料お試し乗車券の途中報告の説明があった。</li> <li>・ ご意見、ご質問等あればお願いする。</li> </ul>
上井委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各ルートによっても対前年同月比でもばらつきがある。</li> <li>・ 南部ルートについては、9月で95%ということで、ほぼ前年並みでびっくりした。ほかの地域の利用状況を見ても7割、8割が多い。</li> <li>・ 分析するに当たって、コロナの影響で利用が落ちたという一言で片づけず、時間帯別、曜日別、目的別、年代別という細かな分析まで行くと、より市内の利用実態もわかってくると思う。そのような観点もぜひご検討いただきたい。以上である。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局、いかがだろうか。</li> </ul>
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参考にさせていただく。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集めているデータは限りがあるが、便別に見るのも1つある。</li> <li>・ ODの結果は載せているが、できればコメントも言葉で書かれているとよい。説明の中では口頭で言われたとおり、東部ルートは特に高齢者が多く、かつ公共施設利用は十四山総合福祉センターの利用者が多い。4月、5月は閉まっていたが、福祉センターの利用者自体が伸びていない。温浴施設が目的であり、公共的なお風呂というと感染の危険があり、なかなか利用者が戻ってこない。</li> <li>・ 南部ルートは95%まで戻り、かなり戻っている印象がある。P.5のグラフ</li> </ul>

	<p>を見ると、南部ルートは通勤・通学、買い物で使う目的がほかのルートよりもあるので、皆さんの動きが戻ってきている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東部ルートの場合は、目的地がなかなか行きにくい施設である。</li> <li>・ 十四山総合福祉センターも当然感染防止の対策を取った上でオープンしているということによいか。</li> </ul>
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ もちろん来館される方には、体温チェック、アルコール消毒、名簿に記載していただき、後で感染となってもわかるようにしている。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ きちんと感染対策をしていることもPRしつつ、目的と合わせた利用促進を何か考えていくべきであるが、なかなか難しいところである。よろしいだろうか。</li> </ul>

### 3.議題

#### (2) 買い物支援サービスについて (報告)

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報告案件である。</li> <li>・ 買い物支援サービスについては、料金を取らずに、まず試行的な取り組みをする。</li> <li>・ 資料3の説明をお願いします。</li> </ul>
事務局 (富居)	<p>○資料 3 説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 弥富市ささえあいセンター買い物支援サービスについて、資料3をもとに説明する。</li> <li>・ 第1回協議会の参考資料6「弥富市移動支援事業について」で説明した弥富市移動支援事業は、弥富市ささえあいセンターが実施主体で買い物支援サービスに限り実施を検討していることから、弥富市ささえあいセンター買い物支援サービスとしてご説明する。</li> <li>・ 事業化への背景としては、弥富市において全人口に対する65歳以上の高齢化率が25.9%と上昇傾向にあり、支援が必要な介護認定を受けた高齢者も今後増えていくことが推測される。</li> <li>・ きんちゃんバスでは75歳以上を無料とし、タクシー料金助成チケットは、障がい者年間48枚、介護認定を受けた高齢者年間36枚を交付しているが、買い物などの日々の生活スタイルに対応した移動を支え切れではない。</li> <li>・ 平成25年10月に開設した弥富市ささえあいセンターでは、介護が必要な高齢者や障がい者の生活支援サービスを行っているが、「外出したい」「買い物に行きたい」という声も多くある。それに応えるため、買い物への不便を解消することが必要であり、車両を使った買い物支援サービスの事業化を検討するものである。</li> <li>・ 市が提案する事業概要としては、P.4に弥富市「ささえあいセンター買い物支援サービス」の概要(案)に利用イメージがある。</li> <li>・ 利用者は、弥富市在住で介護認定を受けている方や障がい者の方で、ささえあいセンターに利用会員として登録された方。また協力者は、ささえあいセンターに協力会員として登録しており、研修を受け、車両を使った買い物支援サービスを行える方である。</li> <li>・ ささえあいセンターのコーディネーターがマッチングを行い、日時を調整</li> </ul>

	<p>した後、協力会員が弥富市総合福祉センターに配置のトヨタカローラ名古屋から10年間無償リースを受けるプリウスPHVとシエンタで、利用会員の自宅まで迎えに行き、お出かけの準備を手伝い、店舗まで運行する。店舗で協力会員が買い物を支援したり、重い荷物を運んだりし、買い物後ご自宅にお送りする。概ね月40件から60件程度の利用を想定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車内では、車内体験として健康プログラムが利用できるタブレット端末を設置し、順次市内の介護事業者などが作成した動画の配信も行う。</li> <li>・サービス利用可能時間は、平日午前10時から午後3時の間とし、利用会員1名につき協力会員1名が支援する。</li> <li>・利用料金は、P.3に料金案をつけているが、現在ささえあいセンターの生活支援サービスの利用料金は1時間700円であり、買い物支援サービスについては1時間700円のトータルは同じとし、700円の生活支援分と運行部分の内訳についての金額設定を現在検討中である。また、運行部分を最大限の700円と設定したとしてもタクシー料金の1/2以下になる。</li> <li>・実施時期としては、11月9日からテスト運行を行い、利用者数の把握や、改善点の洗い出しを行う。テスト期間中は、運行時間についてはサービス時間から除く。</li> <li>・安全運行の観点から、自家用有償旅客運送の福祉輸送の許可を取るべく、第3回協議会での協議事項としてお諮りしたい。自家用有償旅客運送の許可を取得後に事業として開始する予定である。</li> <li>・自家用有償旅客運送の国のガイドラインでは、協議会の場で、地元の交通事業者への地域の移動ニーズに対応した交通の導入に関し、具体的な提案を求める合意形成を行うとある。</li> <li>・本来であれば今回の協議会で交通事業者へ提案を求める合意形成を行った後、交通事業者へ提案を求める流れだが、第3回協議会で協議事項とするために回答期限が短くなるのが想定される。座長の山崎先生と事務局で協議を行い、先行して10月8日付で照会通知を発送した。この照会結果を活用したい。</li> <li>・以上である。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弥富市ささえあいセンター買い物支援サービスに関して、ご意見、ご質問があればお願いします。</li> <li>・説明の中で「自家用有償旅客運送（福祉輸送）の許可を申請する」という言葉が出てきたが、要するに白ナンバーである。営業で使うバスやタクシーは緑のナンバーであり、運賃をもらって運ぶ。きんちゃんバスもそうである。ただ、福祉目的であるとか、白ナンバーの自家用車を使って輸送することが望ましい場合に許可を受けることができる。そういった仕組みの中で運行を目指して、まずは試行、試しにやってみるということである。</li> <li>・こういうものを走らせるときは、タクシーの代わりになるので、当然地元のタクシー事業者と調整し、いろいろな意見をいただいて、もしタクシー事業者が参画できるなら関わってもらいたい姿である。何</li> </ul>

	<p>か意見はあるかと事務局から照会をかけている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見、ご質問等はあるだろうか。</li> </ul>
小林委員 (愛知県バス協会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確認だが、資料3、P.1に利用対象者とあるが、介護保険の申請者、介護保険の認定者、障がい者と記載がある。P.4のイメージ図を見ると利用会員は「高齢者」という言葉も入っている。高齢者の方でも元気な人はたくさんいる。表現の仕方が違うのではないか。</li> </ul>
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用対象者としては、介護、要支援などを受けている高齢者、障がい者である。図が言葉足らずになっている。申し訳ない。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員は介護保険申請中及び利用中、あるいは障がいをお持ちの限定された方々である。</li> <li>・試行運行は11月、12月の2カ月間である。予定としては1月から本格運行に入りたいという資料の書き方になっている。</li> </ul>
事務局 (安井課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月9日から試行運行という形でやらせていただいて、2カ月を目安ということだが、12月の第3回協議会において諮らせていただいて、承認をいただき、その後運輸局に申請をする。許可の関係で時間もかかるかと思う。1月以降の事業開始という表現がわかりにくかったが、許可が下りた後に本格稼働となる。それまでの間は試行運行という形でやっていく。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業化するまでは試行という形で続けるということである。試行の期間を切っておらず、このサービスが一時中断する時間はないということによいか。</li> </ul>
事務局 (安井課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そういう形で進めていきたい。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試行をやる意味は、住民がどのように使われたか、利用者がどう感じたか、そういう情報を収集してこの事業を評価しないといけない。</li> <li>・12月の協議会で11月から1カ月間の状況を報告していただきたい。よろしく願います。</li> </ul>
事務局 (安井課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月の協議会に資料として間に合うところまでまとめていきたい。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よろしいだろうか。</li> </ul>
事務局 (安井課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補足だが、11月9日から試行運行をする前に、無償で貸与いただく車が納車される。28日(水)に買い物支援サービス実証に向けた車両貸与式という形で車両をお披露目したい。</li> <li>・また10月31日、11月1日に市内の海南こどもの国で秋まつりがある。そこで買い物支援サービスの試行運転を始めるというPRと、使用するプリウスのPHVは電気とガソリンで走る車であり、災害時に電源として給電できる機能を持っている。そういうものも市として備えているというPRを行う。よろしく願います。</li> <li>・以上である。</li> </ul>
多田委員 (名古屋タクシー協会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弥富市からはささえあいセンターの関係でいろいろ情報提供をいただいているが、確認をさせていただきたい。</li> <li>・11月9日から試行運行ということだが、無償の運行という理解でよろしいか。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>これから会員を募って利用形態等々、ニーズを調査されると思うが、その結果も12月の協議会でお示しいただけるということでよろしいだろうか。以上2点である。</li> </ul>
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> <li>試行期間中は運行部分については無償である。ささえあいセンターは生活支援サービスを行っており、買い物のお手伝いという生活支援分については1時間700円という単価で実施する予定である。</li> <li>協力会員がご自宅に迎えに行ってお店まで連れて行くところまでは無償で、スーパーの中での買い物のお手伝い分だけが対価が発生する。協力会員が利用会員のご自宅まで送り届けるところは無償である。</li> <li>次回協議会だが、11月9日以降、どのぐらい利用があるのか、どのようなご意見があるのか、事務のオペレーション的に問題がないか、いろいろ検証することがある。まとめてご報告したい。以上である。</li> </ul>
多田委員 (名古屋タクシー協会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ささえあいセンターの700円の料金はそのまま、本格運行からサービスの部分と運行の部分の料金を明確にするという考え方でよろしいか。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>そうである。</li> <li>ほかにはいかがだろうか。よろしいか。</li> <li>どのような結果が出てくるか楽しみにしたい。</li> </ul>

### 3.議題

#### (3) 地域公共交通網形成計画について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>議題3、地域公共交通網形成計画について今計画の見直しを事務局のほうでやっているが、地域公共交通網形成計画は、この協議会に諮って3回見いただいている。計画として一通り内容を検討しているため、前回と重なっている部分もある。前回協議会で指摘されたことを修正している。</li> <li>前回、新たに出されたところを中心に委員の皆様から意見をいただきたい。</li> <li>今回いただいた意見をもとに事務局で再度精査し、次回、第3回協議会で改めて素案として出していただきご審議いただく流れになる。その後パブリックコメントを実施し、第4回協議会、今年度最後の協議会で審議いただき、計画策定という流れである。</li> <li>資料4を使って説明をお願いします。</li> </ul>
事務局 (富居)	<p>○資料4説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改定、弥富市地域公共交通網形成計画素案について資料4をもとに説明する。</li> <li>目次をごらんいただきたい。</li> <li>前回協議会までにお示した事項は「7-6 基本方針に基づく目標」までとなっている。本日は、7-7以降から計画の最後まで事項を検討してきている。</li> <li>最初に、前回協議会までにお示した事項からの修正点について説明する。</li> <li>修正箇所は赤字で示しており、主には実施事業の内容を踏まえた修正となっている。</li> <li>まず、P.25をごらんいただきたい。</li> <li>今後のバス車両の更新が迫っていることを踏まえ、運行に使用している</li> </ul>

	<p>マイクロバスは老朽化が進んでいる旨の記載を追加している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ P.58 をごらんいただきたい。</li> <li>・ 周辺自治体のバスの運行状況があるが、飛島公共交通バス・乗合タクシーが 10 月からダイヤ改正で増便されている。資料の数字は変更前の数字であり、第 3 回協議会までに修正する。なお、蟹江線では平日 59 便、休日 30 便、名港線では平日 27 便、飛島乗合タクシーも 14 便に増便され、運行時刻も長くなっている。</li> <li>・ 次に P.60 をごらんいただきたい。</li> <li>・ 今後、木曾岬町自主運行バスとの乗り継ぎ利便性の向上が重要となってくることから、きんちゃんバスと木曾岬町自主運行バスとの乗り継ぎについて、きんちゃんバスが「近鉄弥富駅南口」、木曾岬町自主運行バスが「近鉄弥富駅北口」に停車するため、乗り継ぎには自由通路を利用する必要がある旨の記載を追加している。</li> <li>・ 補足だが、ここで「自由通路」という言葉を使っているが、近鉄の駅舎については自由通路ではないので、「駅舎通路」に修正する。</li> <li>・ 次に P.61 をごらんいただきたい。</li> <li>・ きんちゃんバスで JR 関西本線及び名鉄尾西線の弥富駅を利用する場合、近鉄弥富駅南口バス停から自由通路（駅舎通路と修正する）を利用する必要があることや、弥富駅では、現在、自由通路・橋上駅舎化事業に合わせた北口駅前広場の整備検討が進められている旨の記載を追加し、駅前広場の整備に合わせた乗り継ぎ利便性の向上に対応している。</li> <li>・ 次に P.73 をごらんいただきたい。</li> <li>・ ささえあいセンターにおける買い物支援サービスの導入を念頭に、介護が必要な高齢者や障がい者の自分で買い物に行きたいというニーズが多くあり、このようなニーズまでカバーするには現在の利用券交付枚数では不足するなど、日常の生活の移動を支え切れていない旨の記載を追加している。</li> <li>・ 次に P.124 をごらんいただきたい。</li> <li>・ ここまでの修正点を踏まえ、現況のまとめを修正している。</li> <li>・ また、P.125 の問題点・課題のうち、「H：福祉施策との連携が必要」の説明文章も修正している。</li> <li>・ 次に P.130 をごらんいただきたい。</li> <li>・ 目標指標に関しては、前回協議会でもご意見をいただき、コロナ禍などによる影響もあるが、基本的には影響前の状況に基づく目標値を目指すものとした。ただ、今後の状況を見極めつつ、必要に応じて適宜見直すものとして対応したい。</li> <li>・ また、目標①と②、目標③については、市民の方にもわかりやすいように補足文章を追加している。</li> <li>・ 目標①②については、実現可能な目標であることを市民の方にもご理解いただくために、単純に人口から考えると、1 人 1 人が現在よりも 1 回多く使うだけでも目標達成可能な数値であることを記載している。</li> </ul>
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標③についても、あくまで仮定の話ではあるが、現在の運行経費のまま利用者数が増加すれば達成可能であり、利用者が増加すれば、運行便数の増加など利便性の改善にもつながる可能性があるということを記載している。</li> <li>・ここまでが前回協議会までにお示しした事項からの修正点となる。</li> <li>・次に P.131 の「7-7 目標を達成するために行う事業及び事業主体・計画期間」をごらんいただきたい。</li> <li>・3 つの基本方針に沿った施策の方向性を定め、そこにぶら下がるように具体的な事業及び事業主体・計画期間を位置づけるものとしている。</li> <li>・基本方針 1 には 4 つの方向性、基本方針 2 には 3 つの方向性、基本方針 3 には 2 つの方向性を対応させている。</li> <li>・次に、P.132 をごらんいただきたい。</li> <li>・ここでは、実施事業の一覧として、基本方針や施策の方向性に対応する事業について、その実施主体やスケジュールを一覧表で整理している。</li> <li>・まず、基本方針 1 に対応する「1) 地域特性や利用特性に応じた改善」では、「①地域特性や利用特性に応じた運行改善」「②南部ルート of 公共交通網再編」「③東部ルート of 公共交通網再編」「④北部ルート of 公共交通網再編」「⑤適正な車両サイズへの見直しやバリアフリー等に対応した車両の導入」の 5 つの事業を位置づけている。</li> <li>・「2) 乗り継ぎ環境の改善」では「①JR・名鉄弥富駅北口駅前広場の整備による乗り継ぎ環境の向上」「②サイクル&amp;バスライド駐輪場・駐車場の設置」「③乗り継ぎバス停環境の改善」「④IC カードや MaaS の導入」の 4 つの事業を位置づけている。</li> <li>・次に P.133、「3) 福祉施策との連携」では「①高齢者や障がい者等への料金負担軽減策の実施」「②福祉タクシー料金助成事業の実施」「③ささえあいセンターによる買い物支援サービスの提供」「④乗務員研修の実施」の 4 つの事業を位置づけている。</li> <li>・「4) 周辺自治体との連携」では「①飛島公共交通バス蟹江線との連携」と「②木曾岬町自主運行バスとの連携」の 2 つの事業を位置づけている。</li> <li>・次に、P.134 をごらんいただきたい。</li> <li>・基本方針 2 に対応する「1) 料金負担の軽減」では「①定期券、回数券等の販売」「②バス相互の乗継券の発行」の 2 つの事業を位置づけている。</li> <li>・「2) 分かりやすい情報提供」では「①分かりやすい時刻表の作成、配布」「②ポケット時刻表の作成、配布」「③乗継券発行バス停等への乗り継ぎ時刻表等掲示」「④広報誌や市ホームページ等多様な媒体による情報提供」「⑤バス運行情報の提供」の 5 つの事業を位置づけている。</li> <li>・「3) 利用するきっかけの創出」では「①無料お試し乗車券の配布」「②エコ モビリティ ライフの推進」の 2 つの事業を位置づけている。</li> <li>・次に、P.135 をごらんいただきたい。</li> <li>・基本方針 3 に対応する「1) 多様な主体の協働・連携」では「①主要施設へのきんちゃんバスの情報掲示」「②イベントの場を活用したきんちゃ</li> </ul>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>んバスの周知活動の展開」「③講演会や講習会の開催」「④快適なバス待ち環境の創出」の4つの事業を位置づけている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「2) 地域公共交通を創り、支える」では「①弥富市地域公共交通活性化協議会の開催」「②意見交換会の開催」「③バス協賛金事業の展開」の3つの事業を位置づけている。</li> <li>・次に P.136 をごらんいただきたい。</li> <li>・ここからは、実施事業の概要を整理している。</li> <li>・時間も限られており、主だったものをかいつまんで説明する。</li> <li>・まず、「②南部ルート of 公共交通網再編」だが、現状の問題やこれまでに実施した意見交換会での意見も踏まえ、南部コミュニティセンターや鍋田支所等主要な施設を拠点とし、通勤、通学需要に対応した市中心部への急行便の運行について、令和3年度に社会実験運行を実施することを明記している。</li> <li>・その結果をもとに、本格運行に向けた運行計画を検討するとともに、移転してくる名古屋競馬場との連携も視野に、南部ルート全体の再編を検討する。</li> <li>・再編は令和4年度中には実施したい。</li> <li>・次に P.137 をごらんいただきたい。</li> <li>・南部ルートの再編から1年ずらして「東部ルートの公共交通網再編」を、さらに1年ずらして「北部ルートの公共交通網再編」を実施することを考えている。</li> <li>・「再編」という言葉を使っているが、今後の意見交換会での意見や検討によっては、現在の運行ルートやダイヤの見直し程度に収まる可能性もある。</li> <li>・次に P.138 をごらんいただきたい。</li> <li>・「①JR・名鉄弥富駅北口駅前広場の整備による乗り継ぎ環境の向上」では、駅前広場の新たな整備に合わせた乗り入れを検討するとともに、快適な待ち合い環境を形成するなど、乗り継ぎ環境の向上を図ることを記載している。</li> <li>・また、「②サイクル&amp;バスライド駐輪場・駐車場の設置」において、これまでも実施してきたサイクル&amp;バスライド駐輪場の箇所数の増加を図るとともに、自転車だけでなく、駅など市中心部まで遠く、南部コミュニティセンターなど、広大な駐車場を持つ主要な施設においてはサイクル&amp;バスライド駐車場を設置していきたい。</li> <li>・次に P.140 をごらんいただきたい。</li> <li>・「③ささえあいセンターによる買い物支援サービスの提供」として、前の議題でも説明した事業について記載をしている。</li> <li>・次に P.141 をごらんいただきたい。</li> <li>・「①飛島公共交通バス蟹江線との連携」では、ダイヤの改善のほか、きんちゃんバスの飛島村への乗り入れなどにより、地域間幹線系統である飛島公共交通バスと、そのフィーダー系統であるきんちゃんバスとの連携を強化し、相互の利用促進を図りたい。</li> </ul>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・また、「②木曾岬町自主運行バスとの連携」では、現在、近鉄弥富駅北口を利用している木曾岬町自主運行バスを、近鉄弥富駅南口へとアクセスさせ、合わせて乗り継ぎダイヤの調整をすることで乗り継ぎ環境を改善し、木曾岬町民のイオンタウンへのアクセス要望に応えるなど、相互の利用促進を図りたい。</li> <li>・次に P.144 をごらんいただきたい。</li> <li>・「利用するきっかけの創出」として無料お試し乗車券の配布は今後も継続的に実施していきたい。</li> <li>・次に P.147 をごらんいただきたい。</li> <li>・「②意見交換会の開催」は、各ルートの再編検討時や、本計画の見直し時において、自ら検討する場として開催したい。</li> <li>・最後に P.148 をごらんいただきたい。</li> <li>・計画の進め方として、PDCA サイクルを繰り返すとともに、コロナ禍による影響も踏まえつつ、目標の達成状況や上位計画の改定内容を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行うことを記載している。</li> <li>・また、評価スケジュールとして、令和 6 年度から 7 年度にかけて、次期計画への見直しを進めることとする。</li> <li>・これで計画の内容を一通りお示しさせていただいたが、本日ご意見をいただき、さらに事務局で再度精査し、次回、第 3 回協議会で改めてお示しさせていただきたい。</li> <li>・その後は、1 カ月程度パブリックコメントで意見募集を実施し、3 月に予定している第 4 回協議会で最後のご審議をいただきたい。</li> <li>・以上である。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確認だが、今回新たに出てきたところが、P.131の7-7以降でよいか。</li> <li>・P.130までのところで、前回から赤色で修正された部分に関して、ご意見、ご質問があればお願いします。</li> </ul>
上井委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P.121の目標達成状況の評価だが、前回6月に、もう少し振り返りをさせていただきたいという意見を述べたと思うが、ほとんど変わっていない。</li> <li>・P.122、123のところにこれまでの実施状況もある。これらも含めて総括的なことをもう少しボリュームを膨らませて書いていただきたい。</li> </ul>
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指摘いただいた点について第3回協議会までに検討してボリュームアップしたい。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの状況をきちんと整理した上で次の計画に入っていないといけない。よろしくお願いします。</li> <li>・ほかにはいかがだろうか。</li> </ul>
上井委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P.130の目標②、新規利用者の獲得ということで毎年80人以上とあるが、やっていく内容が無料お試し券と限定されている。無料お試し券は継続するのはいいことだと思うが、それ以外のことによる新規獲得もあるのではないか。無料お試し券に限定せずに新規利用者の獲得をやっていたほうがよい。</li> <li>・目標④、これは目標になるのか疑問である。P.131以降でいろいろやって</li> </ul>

	<p>いく事業が出てきて、公共交通会議を開催する。目標というより、施策、事業、取り組みになるのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参考までだが、公共交通活性化再生法の改正が5月にされ、来月末か12月初旬には施行される。現在、その関係の省令改正案が出ており、そこに、計画を作るときは利用者数、収支率、行政負担額という3つを目標値として定めることが出てきている。いずれはその管理についても求められる。今回盛り込めなければ仕方がないが、検討いただけるとよい。以上である。</li> </ul>
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘の部分については検討させていただく。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>お試し乗車券は1つの手段であり、限定する必要はない。おっしゃるとおりである。</li> <li>最近の流れだと事業者さんも大変で、運行経費はどんどん高くなっていく中で、なるべく効率的な生産性の高いサービスを提供しなければいけない。収支率や行政負担額をきちんと示していく流れができてきている。</li> <li>きちんと数字を整理して目標値にするのか、事務局で検討していただきたい。</li> <li>P.130までの修正に関してはよろしいか。</li> <li>P.131の7-7、目標を達成するための事業及び事業主体・計画期間だが、P.131以降、それぞれの基本方針に対応する形で具体的な事業、取り組み、施策として行っていくことが整理されている。今回の協議会で初めて出てきた資料だと思う。この部分に関してご意見、ご質問があれば願います。</li> </ul>
小嶋委員(代理) (愛知県都市整備局交通対策課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>2点お伺いしたい。</li> <li>1点目、P.136からP.137にかけて、それぞれのルートの見直しが書かれているが、一緒に行わずに1年ずつずらすのは何か狙いがあるのか。意図したところをお聞かせいただきたい。</li> <li>もう1点は、P.141、周辺自治体と連携することは非常に重要である。飛島公共交通バスとの連携で、「乗り継ぎダイヤの改善や飛島村への乗り入れ等を検討」とあるが、明らかになっているニーズや想定されている改善案が現時点であれば教えていただきたい。</li> </ul>
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルートごとにずらしていた点だが、去年、調査やワークショップを行い、南部ルートが一番問題があると感じたため、直行便をやっていく中で再編し、一気にやるのではなく1つ1つワークショップを開いて皆さんの意見や交通事業者等の意見も聞きながら、計画上だが、1年1年じっくりと各ルートごと取り組んでいきたい。</li> <li>2点目の飛島公共交通バス蟹江線、飛島さんへの乗り入れだが、今だと東部ルートは十四山地区でフィーダー系と連結しており、そのあたりの方が近鉄蟹江駅まで通勤・通学で使われる方が多い。</li> <li>南部ルートの方も通勤・通学、特に通学の方は保護者の方が車で送り迎えているが、弥富駅まで行くと往復1時間かかるので、木曾岬町のバスや飛島村のバスまで保護者の方が送っていくケースが多いと聞いている。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な乗り入れ等に関してはまだ調整をやっていない。検討段階ということにさせていただきたい。以上である。</li> </ul>
上井委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P.131以降ではないが、先ほど法改正の話に触れたので、今ある情報をお伝えする。</li> <li>・今回の改正によって計画策定が全自治体の努力義務化になる。作った計画については毎年評価をしてほしいと言われている。</li> <li>・国の幹線やフィーダーという運行経費を補助するメニューがあるが、計画と補助金は連動すると言われている。言い換えれば計画がないところには補助金は出さないということになってしまう。</li> <li>・気をつけていただきたいところが1点ある。弥富市の補助金についてはきんちゃんバスの北部ルート、南部ルートは交通不便地域指定で弥富市だけの完結になるが、東部ルートは飛島公共バスと接続しているフィーダーで、飛島公共バスが幹線になっている。飛島公共バスは飛島村と蟹江町に乗り入れをしているが、蟹江町は計画がない。蟹江町も計画を作っていたかないといずれどこかで補助切れになる。</li> <li>・経過措置、猶予期間も今後出てくると思うが、どこまでという細かな補助要綱まではまだできていない。今の時点ではそれぐらいの情報になる。今後、周辺自治体との連携については、蟹江町、飛島村も含めて、相互に意見交換などしながら進めていただけるとありがたい。</li> </ul>
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報をありがとうございました。そのように進めさせていただきたい。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺の市町村と連携をきちんと取っていかねばいけない。</li> <li>・飛島さんが今回10月1日からダイヤ改正を実施している。本来であれば事前にこの会議で報告していただかなければいけない。タイミングもあるので、この会議で協議するわけではないが、きちんと議事を設けて報告していただきたい。</li> <li>・上井さんから指摘があった目標④は「協議会を通した協働・連携」という目標を設定しているが、協議会のタイミングはそんなにあるわけではなく、年度内に4回で、今計画策定をやってるので弥富は多いほうである。少ないところだと2回しかやらないところもある。</li> <li>・関連している飛島さんや木曾岬さん、計画を作っていない蟹江さんとは、担当者レベルでもいいので公共交通に関して密に連絡を取り合う機会を設けることも1つの取り組みである。</li> <li>・事務局、いかがだろうか。</li> </ul>
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛島村さんとは事業評価の関係で毎年連携させていただいている。</li> <li>・木曾岬町についても今後近鉄弥富駅南口に乗り入れの話もある。密に連携していきたい。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に担当者会議が設定されると抜かりがなくなってくる。連携をよろしく願います。</li> <li>・概要が示されているだけであるが、具体的な対策案、こういうことを実施するという資料の整理のされ方をしている。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民団体代表の方々から何か一言ずつ意見をいただきたい。P.131以降に具体的にこのような取り組みをすると書かれているが、このあたりのメニューに関して、順番に区長会長の高橋さん、何か意見があれば願う。</li> </ul>
高橋委員 (弥富市区長会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福寿会の会長さんと話したが、なかなか難しい。</li> <li>・蟹江町は自分のところで走っているというか、飛島さんはどちらかというと弥富駅に来るより蟹江駅がということで、もちろん十四山の方は通勤・通学の方がそちらのほうだと思うが、鍋田でも南のほう、特に操出、末広などはどちらかという蟹江に行くほうが近いので飛島さんのそういうバスを使ってやっていた。</li> <li>・昔は三重交通で操出から蟹江まであったが、今は廃止になって、利用するとすればどうしても飛島さんのバスを使って蟹江のほうに行く。</li> <li>・木曾岬さんはどちらかという境とか富島のほうの地区、西側の方が木曾岬のバスを使って駅まで行くと思う。</li> <li>・私も詳しいことはわからないが、昔とだいぶ変わってきているという面で、一番いいのは弥富市からきちんとした、時刻を短縮して、今大型の三重交通のバスも走っているが、小型のバスで時間帯とかコース等もう少し検討していただいて、何とか通勤・通学者、高齢者、特に買い物などもあるので、そういうルートはできないものかどうか。</li> <li>・すぐというのは難しいが、今後、ある程度時間をかけて検討していただけるとありがたい。以上である。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蟹江駅に出る流れというのはこの地域の方々には大切で便利なルートである。飛島の蟹江線は、この地域みんなで市町村をまたいで考えていかなければいけない。</li> <li>・早川さん、願う。</li> </ul>
早川委員 (福寿会連合会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P.130以降の中で東部ルートの公共交通網再編だが、先ほど区長会長が言われたように、今後補助のことを考えていくと蟹江町にある程度同調してもらわなければならないということになってくるのか。そうでもないのか。</li> </ul>
上井委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明すると、計画を作らないと補助金が出ないという方向に今動いている。飛島村の飛島公共交通バス蟹江線は飛島村と蟹江町をまたいで走っている。これが国の複数自治体をまたぐ幹線系統の補助ということになる。その幹線にきんちゃんバスの東部ルートは接続している。</li> <li>・今後計画がないところには補助金が出ないとなると、今弥富市さんと飛島村さんは計画があるが、飛島公共交通バスが乗り入れている蟹江町が計画がない。</li> <li>・恐らく今本省が言っている話では、1つでも計画がないところについては補助金は出さないという方向になる。幹線の飛島公共交通バスの補助金がここで切れてしまうと、そこに接続しているフィーダーも一体なので芋づる式になってしまう。そういう可能性が起きてくる。</li> </ul>
早川委員 (福寿会連合会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そういう形になると最終的に市がある程度出さなければならないのか。</li> </ul>

上井委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのときに財政負担をどうするかということになる。</li> </ul>
早川委員 (福寿会連合会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金を活用するということが今前提になってくるわけである。飛島さんは幹線でやっている。それに弥富も接続している。</li> <li>・蟹江町の中の対応をどう考えてもらえるか、私どもからアプローチしていかなければいけないということか。</li> </ul>
上井委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そうである。</li> </ul>
早川委員 (福寿会連合会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛島のほうを利用するというのが東部の一部の地域ではあるわけである。町村をまたがってやることであるので、特に補助金の活用という面では、依頼すべきことは依頼して、そういった対応をしていかなければいけないのではないのか。</li> <li>・概要の中で書かれている効率的な運用の中で、1便でも多くする効率的な運用を図るというのと、「デマンド等運行方法の変更も念頭において」と明記されているが、どちらでも取れるというのではなく、ある程度方向づけをしていかなければいけないと思う。どのように思っているのかお聞きしたい。</li> </ul>
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南部直行便など、なるべく早く目的地にたどり着くために、ルート見直しの段階で支線部分が若干手薄になる可能性も排除できない。そうした場合にデマンド等の方法も考えられる。</li> <li>・交通事業者との話、また予算的な話もあるので、ここですぐに結論は出ない。じっくり検討する時間をいただく。</li> <li>・来年度以降、ワークショップで各ルートごとに意見を聞きながら判断していきたい。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そんなにすぐに方向性を出すことはできないということである。</li> <li>・民生・児童委員の遠藤さん、お願いします。</li> </ul>
遠藤委員 (民生・児童委員協議会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私が住んでいる地域はJR・名鉄弥富駅北口のほうであり、ここに載っているJR・名鉄弥富駅北口駅前広場の整備による乗り継ぎというのは興味がある。どのようにつながっていくのか。</li> </ul>
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市整備課でJR弥富駅の橋上化の計画をしている。</li> <li>・交通戦略という別の会議でも話がされているが、交通戦略の下にこの協議会は位置づけがしてある。</li> <li>・橋上化ということで、市のほうも駅の整備を今後行っていく。それによってバスのルートもそこが動線としてよくなれば、そっちに変えたほうがよいとか、そういうことを検討していきたい。</li> </ul>
遠藤委員 (民生・児童委員協議会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南口のようにロータリーができるということか。まだそこまでは行かない？</li> </ul>
安藤市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR・名鉄弥富駅の自由通路を今後作っていく計画がある。これは駅を作るという事業ではなく、目的が北と南の交通結節点ということで自由通路を作っていくというものである。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本来だと東西にある踏切の拡幅というのもあるが、鉄道事業者との調整が難しく大変ハードルが高い事業となる。</li> <li>・まず真ん中の自由通路、それに伴って駅舎も一緒に直すということである。</li> <li>・北口にあるJA会館やとみを買収させていただき、そちらにロータリーを作り、コミュニティバスのバス停もできればよいと思っている。</li> <li>・北部ルートの見直しもしていきたい。</li> <li>・また北部ルートはかなり大きいルートであり、乗られる方は大変時間のご不便をおかけしている。もう少し細分化できないか今後検討してまいりたい。ご理解いただきたい。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よろしいだろうか。</li> <li>・それでは、女性の会代表の服部さん、お願いします。</li> </ul>
服部委員 (弥富市女性の会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回会議に出させていただき、いろいろな方針と施策の方向性など、資料がたくさん出てきた。今まで利用できなかったバスが少しでも皆さんに利用していただければよいと思う。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よくわからないことがあれば、どんどん質問をしていただきたい。</li> <li>・市民の方々が主役になって考えていかなければいけない公共交通のバスである。</li> <li>・山口さん、お願いします。</li> </ul>
山口委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P.136の南部ルート是件だが、南部コミュニティセンターと鍋田支所から急行便という案があるが、通勤・通学と高齢者用をやられると思うが、通勤・通学の場合に朝と夕方の本数は市として考えている案があれば教えていただきたい。</li> </ul>
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝、晩は数便走っているが、それにプラスしてフォローできていない時間帯に3便行ければよいと思っている。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何となくバクツとした案は事務局のほうで描いているものはあるということである。ただ、費用を抑えつつ、サービスをより使いやすくしていくところが難しい。</li> <li>・ほかにはいかがだろうか。</li> </ul>
伊藤委員 (木曾岬町役場 危機管理課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺自治体の連携ということで、うちの木曾岬町自主運行バスだが、今は近鉄弥富駅北口に乗り入れをさせていただいている。そこに迎えに来られる弥富市の方たちの車と結構危なかったりということで、南口への乗り入れも木曾岬町としては長年の課題ということで、この計画に載せていただいたことにまずもってお礼を申し上げたい。</li> <li>・周辺自治体との連携を密にということで、うちの公共交通会議に弥富市の方が今入っていないという状況である。委員の構成等見直して連携を密にさせていただきたい。今後ともよろしくお願いします。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・せっかくこちらに来ていただいているのだから、こちらからも参加させていただいたほうがよい。</li> <li>・事務局、今のはよろしいだろうか。</li> </ul>
事務局 (安井課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先だっても今回話題になっている南口ロータリーのご意見をいただいた。今後こちらの計画でもうたっているように連携を密にしていきたい。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>市としても特に南部から北に向かう中で、木曾岬町さん、飛島村さんとの連携は大変大事なものになるので、しっかりやっていきたい。お願いする。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほかによろしいだろうか。</li> <li>これはまだ承認していただくというわけではないということである。</li> <li>今日いただいた意見を踏まえて修正していただき、次回素案という形でもう少し整理した状態で、最終案的なものをご提示いただき、それを踏まえてパブリックコメントという流れになっていく。その時点で素案はこれでよいか協議、審議したい。</li> <li>ここまでの作業に関してよろしいだろうか。</li> </ul>

### 3.議題

#### (4) その他

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>議題4としてその他とあるが、事務局から何かあるか。</li> </ul>
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご報告となる。今年度、本計画のパブリックコメントの実施時期に合わせて意見交換会を実施する予定となっていたが、コロナ禍の状況を踏まえて今年度は中止する。よろしくお願いします。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>よろしいだろうか。</li> <li>意見交換会はコロナ禍を踏まえて中止ということで残念である。昨年の意見交換会では本当にいい意見がたくさん出た。今日の資料の中にある南部ルートの特急運行というところも結構案が出て、鍋田のコミュニティセンターを学生に開放して、バスであそこまで帰ってきて、自習室を設けて夜遅くまで勉強して、親が支所に迎えにくるというやり方はどうだという意見も出たり、なかなか充実した会であった。</li> <li>何らかの形で住民の意見を十分に吸い上げていただきたい。</li> <li>ここまで全体を通して何か言い忘れたこと、言っておきたいことがある方はお願いします。よろしいだろうか。</li> <li>以上で議題は終わった。マイクを事務局にお返しする。</li> </ul>

### 6.閉会

事務局 (安井課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>山崎先生、ありがとうございました。</li> <li>最初に資料としてお配りした運輸支局さんからのシンポジウムのチラシだが、上井様から説明はあるか。</li> </ul>
上井委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> <li>特にない。誰でも参加できるので、ぜひオンラインで参加いただきたい。</li> </ul>
事務局 (安井課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>連絡事項であるが、次回の第3回協議会は12月24日を予定している。改めてご案内をさせていただくのでよろしくお願いします。</li> <li>以上をもって、第2回弥富市地域公共交通活性化協議会を終わらせていただく。今後ともご協力賜るようお願いする。</li> </ul>

以上